

発達障がい通級指導教室の入級等の手続きについて

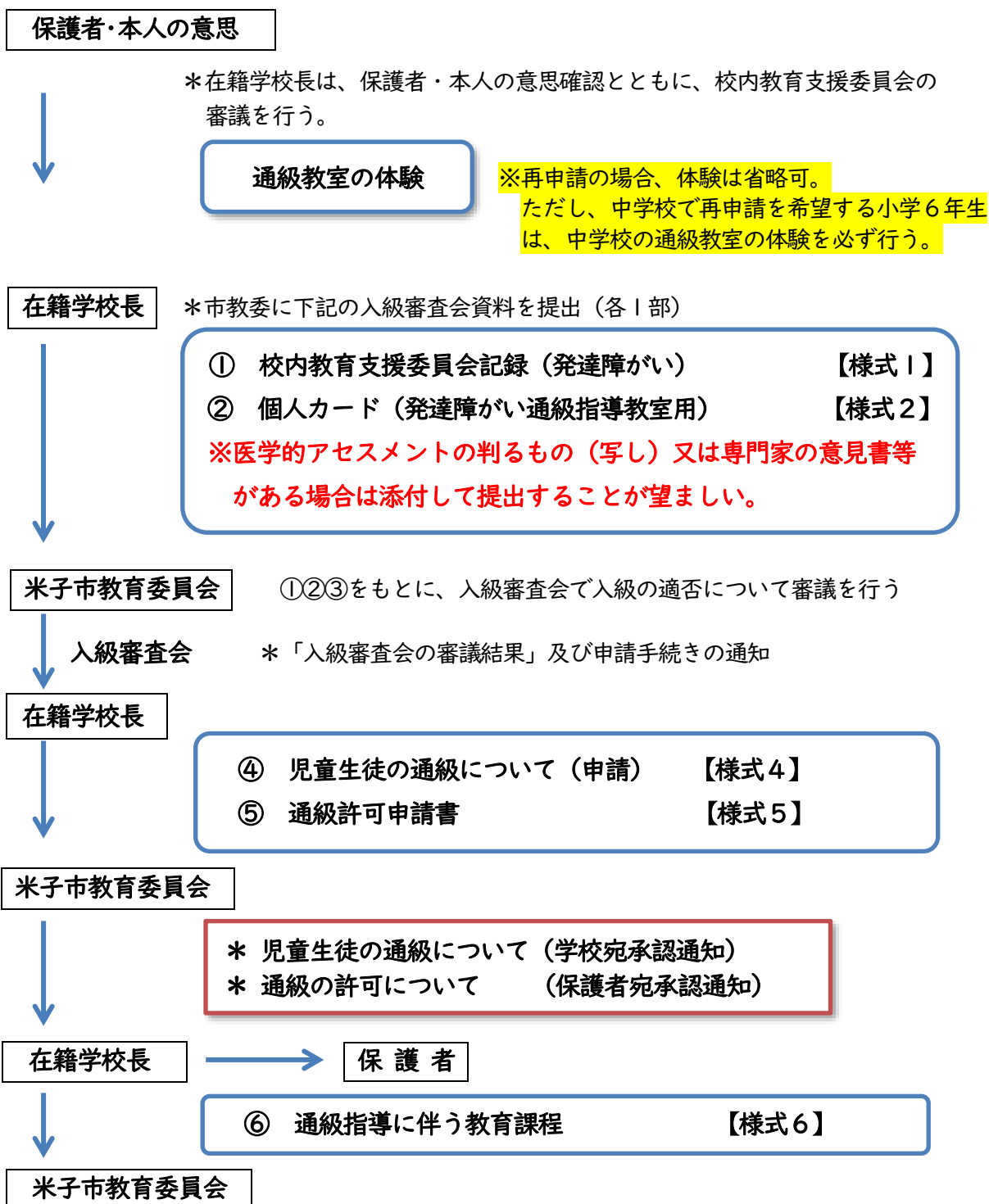
- | | | |
|---|---------------------------------|-------|
| 1 | 「まなびの教室」入級・退級等の手続き | P.1～ |
| 2 | 「まなびの教室」に係る1年間の文書の流れ | P.3～ |
| 3 | 「まなびの教室」の手続き等について〈解説〉 | P.5～ |
| 4 | 通級指導1年間の流れについて | P.9～ |
| 5 | 「まなびの教室」文書様式集
【該当者報告書、様式1～8】 | P.11～ |

令和8年5月

米子市教育委員会

Ⅰ 「まなびの教室」の入級・退級等の手続き

(1) 入級手続きの流れ



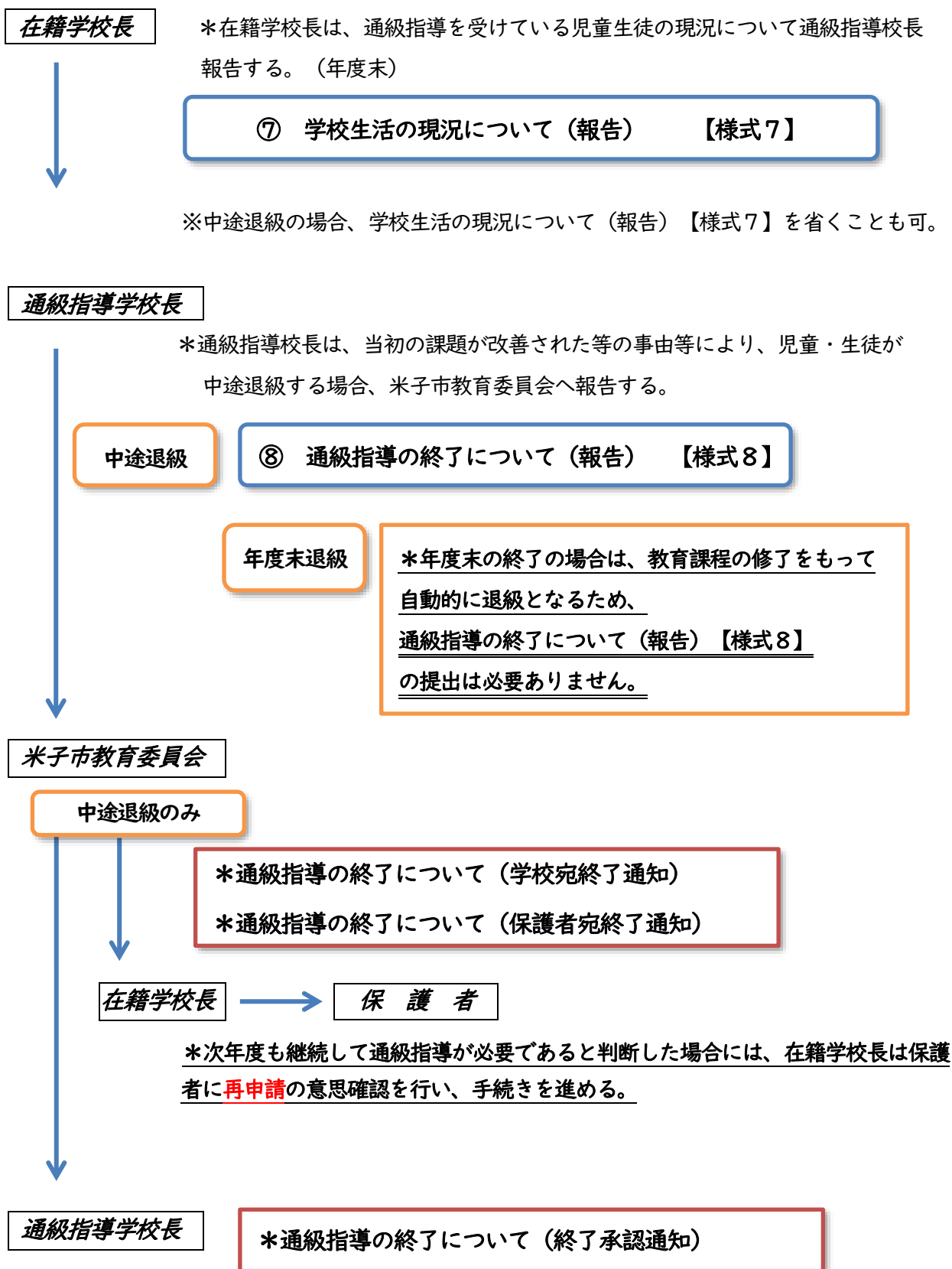
入級審査会開催予定月

2月 ・入級審査会

※中学校新1年生の入級審査会の場合、入級審査会資料は、小学校在籍学校長が米子市教育委員会に提出し、入級審査会の審議を受けて、通級許可を米子市教育委員会に申請する。

8月及び随時 ※受け入れ可能な場合に開催

(2) 退級手続きの流れ



2 通級指導教室に係る1年間の文書の流れ

○通級児童生徒の申請関係(年度末)

発出・提出予定日	発出元→発出先 *文書名等	備考
12月当初	市教委→在籍校 *通級指導校への学校生活の現況についての報告依頼	・在籍校への依頼
1月中旬頃	在籍校→通級設置校 *学校生活の現況について(報告)【様式7】	・市教委文書を受け、 在籍学校長が報告
1月下旬頃	通級設置校→市教委 *学校生活の現況について(報告)【様式7】(写し)	
3月5日頃	市教委→該当学校・保護者・通級設置校 *通級指導の終了について(通知)	

○新規申請、及び再申請関係(2月、3月入級審査会)

発出・提出予定日	発出元→発出先 *文書名等	備考
11月当初	市教委→各学校 *来年度の通級指導の必要な児童生徒について(依頼)	・来年度当初からの指導が必要な児童生徒の把握
12月4日	該当学校→LD等専門員、通級担当者 (該当者報告)文書ではなく、電話連絡	・来年度申請する児童生徒を報告する
1月中旬頃	該当学校→市教委 *該当者報告提出	・市教委文書を受け、 該当者の有無にかかわらず提出
1月30日頃	該当学校→市教委 *新規入級希望者及び再申請希望者の入級審査会資料提出 【様式1】【様式2】	・市教委文書を受け、 学校から提出
2月中旬頃 3月中旬頃	入級審査会開催 (申請があった児童生徒について通級指導を受けることが 適当であるかの可否を総合的に判断)	
3月中旬頃	市教委→該当学校 *入級審査会審議結果(通知) *入級申請手続きについて(通知)	・児童生徒の申請手続きに係る通知送付
修了式まで	該当学校→市教委 <u>児童生徒の入級申請提出</u> *児童生徒の通級について(申請)【様式4】 *通級許可申請書【様式5】	・市教委文書を受け、 指導を受ける児童の入級申請提出

4月当初	市教委→該当学校・保護者・通級指導校 *学校長及び保護者宛承認通知の送付	
時間割決定後	通級指導校→市教委 *通級指導時間割報告	
5月下旬頃	該当学校→市教委 *通級指導に伴う教育課程【様式6】	・在籍校は通級担当者に確認をとり、提出

○年度途中で入級を希望する児童生徒について(受け入れ可能な場合)

※通級指導受け入れ可能な場合は、下記日程で、8月に入級審査会を開催し、2学期からの
中途入級を受け入れます。

5月下旬頃	市教委→各学校 *通級指導の必要な児童生徒について(依頼)	・在籍校は6月中旬までに 該当者報告
8月 1日頃	該当学校→市教委 *入級希望者の入級審査会資料提出	
8月10日頃	入級審査会開催(入級の適否について判定を行う)	
8月15日頃	市教委→該当学校 *入級審査会審議結果(通知) *入級申請手続きについて(通知)	・児童生徒の申請手続 きに係る通知送付
2学期	入級	

※原則として、上記以外は、年度中途の入級はできません。

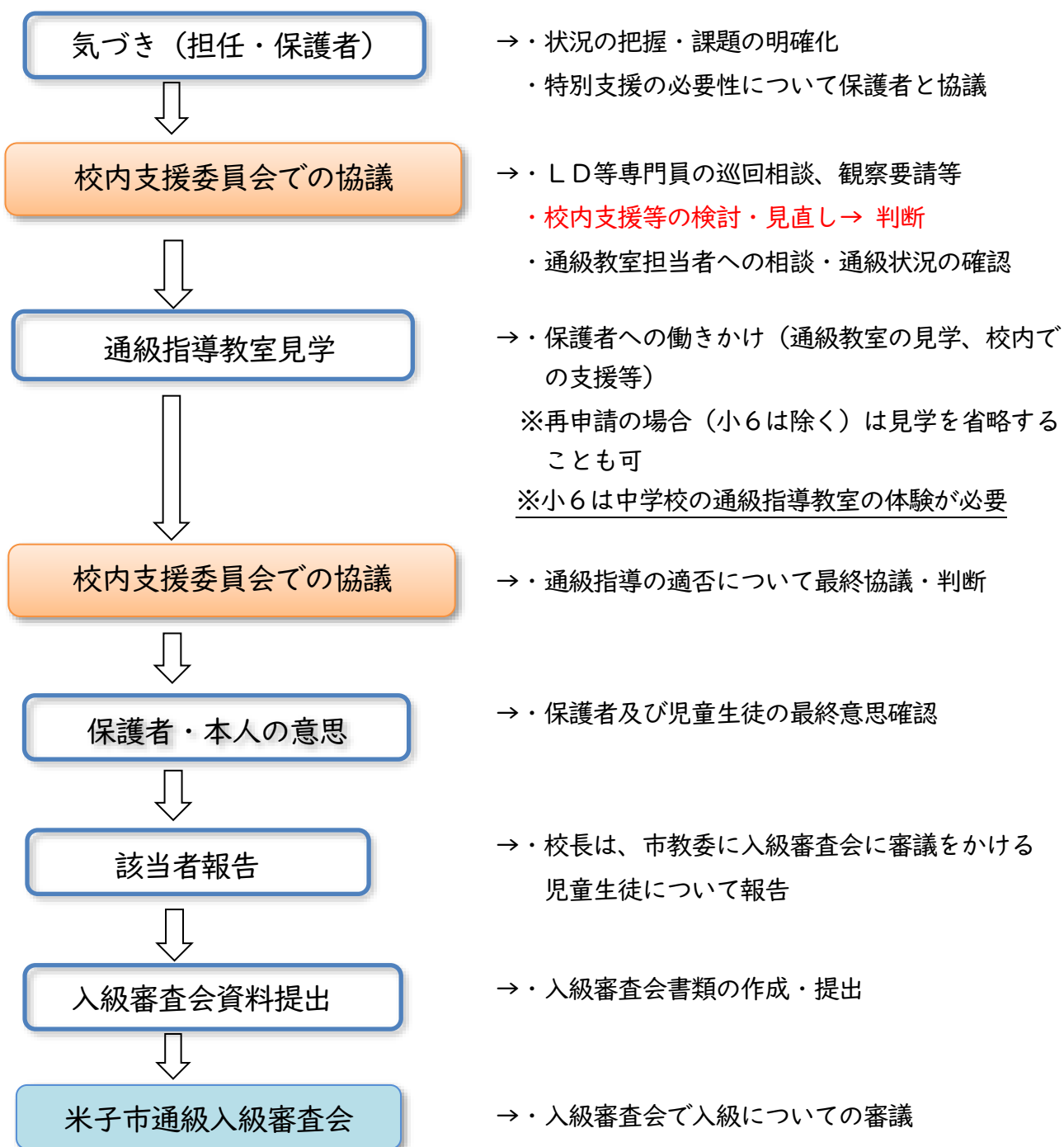
3 「まなびの教室」の手続き等について<解説>

1 入級に関する手続きについて

(1) 入級審査会までの流れについて

<解説>

校内支援委員会で通級が適当であるかを協議した上で、入級に向けて動くこととなります。その際、次のような流れで事前の協議を行う必要があります。



(2) 入級手続き上の主な留意事項

○ 「まなびの教室」への入級について入級審査会で審査を行うこと

<解説>

入級審査会の開催時期は、2月、8月（受け入れ可能な場合に中途入級希望者）と決まっている。そのため、学校においては、入級審査会に向けての事前協議を計画的に進めておく必要がある。

○ 医学的アセスメントについて

<解説>

教育上、児童生徒にとって適切に必要な支援を行うためには、医学的アセスメントを参考にすることが重要である。そのため、学校は児童生徒の実態をより正確に把握する目的で、保護者に対して医療機関の受診を勧めたり、必要に応じて付き添い受診を行ったりすることがある。

一方で、令和8年度の入級児童生徒からは、入級審査会における提出書類として、医学的アセスメント（診断書等）を必須とはしないこととした。これは、診断等の有無にかかわらず、学校における丁寧なアセスメントと教育的ニーズの把握を重視する方向性に基づいたものである。

ただし、審査会に諮る際に、医学的アセスメントの内容が確認できる文書の写しや、診断書、検査結果等がある場合は、その添付が望まれる。また、学校が把握している記録については、校内支援委員会の記録【様式1】、個人カード【様式2】の該当欄に明記することが必要である。

○ LD等専門員の巡回相談、依頼相談について

<解説>

令和8年度の入級児童生徒からは、「LD等専門員の意見書」は不要となる。

ただし、これに代わる対応として、校内支援委員会の記録【様式1】の「LD等専門員巡回相談・依頼相談について」の欄には、専門員による相談・助言の内容助言を受けて学校が実践した支援の内容などを、具体的かつ明確に記載することが必須となる。この記録は、児童生徒の支援の根拠として審査会で重要な資料となるため、丁寧な記載が求められる。

○ 校内教育支援委員会で「特別支援学級適」と判定している児童生徒について

<解説>

「まなびの教室」の対象児童生徒は、通常の学級に在籍しており、発達障がい起因する課題を解消するために通級による指導が必要な児童生徒である。校内で特別支援学級「適」と判断している児童生徒については、保護者に特別支援学級への橋渡しとして「まなびの教室」を勧めるのではなく、特別支援学級入級への合意形成を図る。近年の入級審査会においては、通級指導では効果が見込めない（現在、本市では、週1回程度の指導となっていることから）児童生徒について、入級不適としている。

2 再申請・終了に関する手続きについて

(1) 通級期間見直しの背景（原則、1年間）

年々、通級指導教室入級を希望する児童生徒が増えている。通級指導の継続・終了判断は1年毎であるが、継続指導が必要な児童生徒も多く、年度末での退級者は少ない。そのため、新規の入級希望者を受け入れることができない状況が生じている。

しかしながら、各学校においては、新1年生や2年生以上の児童生徒の中に、児童生徒本人の障がい起因する課題が顕著となり、通級による指導の必要性が、より切実になっている場合も少なくない。長期的には、通級指導教室の増設が望まれるが、現状においては、通級が必要な児童生徒の優先順位の見直しが必要であるため、新規入級ができるシステムづくりが必要である。

(2) 通級指導の1年間の流れ（別紙「通級指導1年間の流れについて」参照）

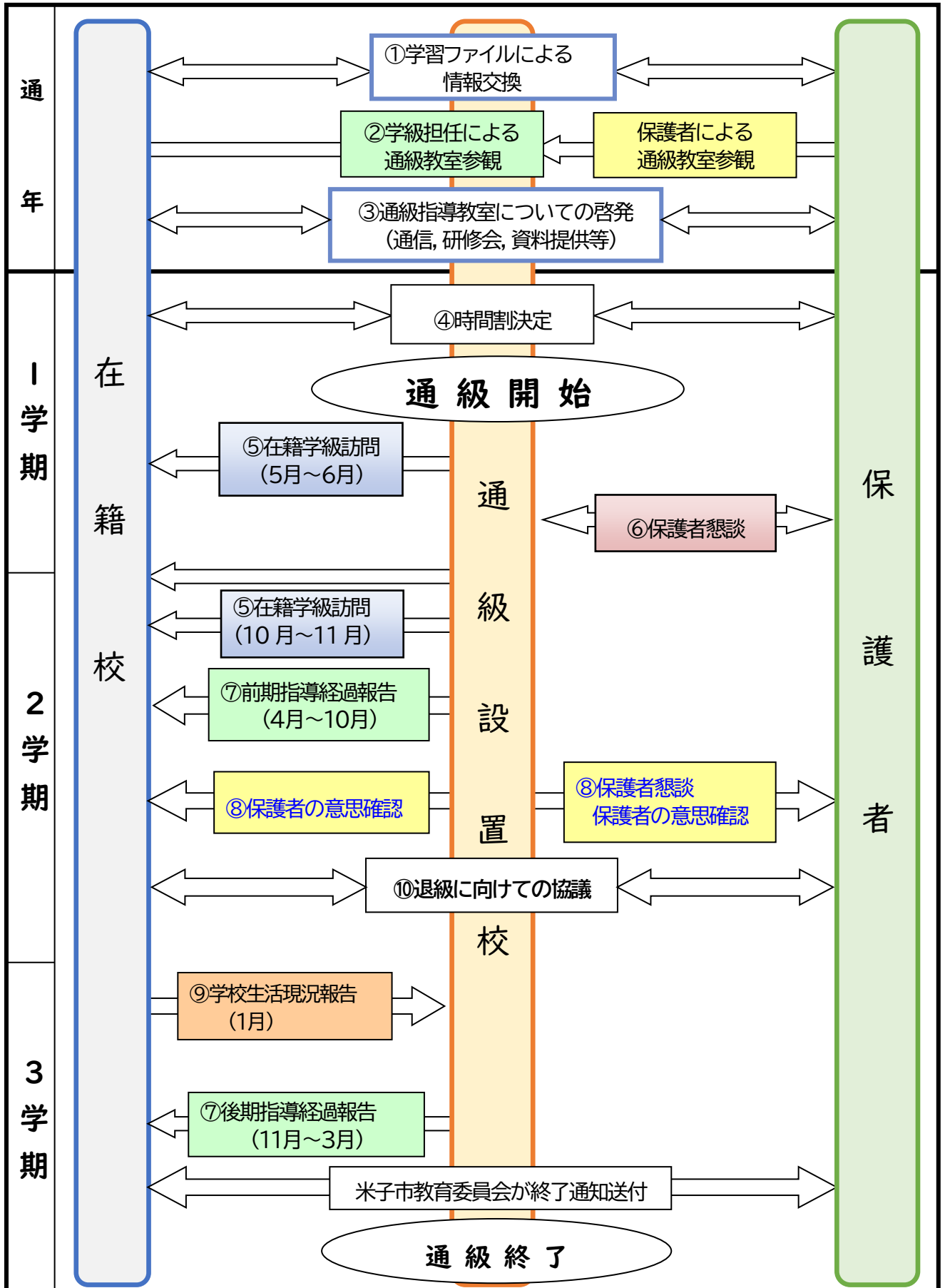
- ① 通級指導の継続希望の有無についての保護者の意思確認においては、保護者に「通級指導教室での通級指導期間は1年である。次年度も継続して通級指導を希望する場合は、再度申請（新規の手続き）となる。」ことを伝えておくことが必要である。
- ② 通級指導校と在籍校が連携を図って、通級児童生徒への指導、支援を行う。
 - ・在籍校は、通級指導校の担当者と協議した上で、指導目標及び主な指導内容を決める。
 - ・通級担当者、LD等専門員は、在籍校で行うべき支援についてアドバイスをする。また、在籍校の学級担任は、目標に照らし合わせながら通級児童生徒の学級での様子を通級担当者に伝える。
 - ・在籍校は、校内委員会等で、通級児童生徒の「実態の把握」と「適切な支援」について共通理解を図るとともに、学校体制で児童生徒の課題の改善へ向けた支援を行う。
- ③ 通級指導校は、在籍校に、前後期で通級指導の経過報告を行う。
- ④ 在籍校は、通級指導校に、通級児童生徒の学校生活の現況についての報告を行う。
（報告期限は、1月中旬頃）

(3) 入級審査判定決定までの流れ

- ① 通級担当者、LD等専門員は、在籍校訪問や巡回相談を通して、該当児童生徒の実態把握に努め、判定へ向けての資料とする。(1学期～2学期)
- ② 在籍校の校長は、通級指導を受けている児童生徒の学校生活の現況及び校内委員会の審議結果を通級指導校の校長に報告する。(1月中旬頃)
- ③ 通級担当者は、年度初めの目標に対してどの程度の改善が図られたのか、在籍校からの「学校生活の現況について」【様式7】(写し)を市教委に提出(1月下旬頃)し、次年度も通級指導が必要かどうか入級審査会で審議する。
- ④ 入級審査会においては、新規入級希望の児童生徒の状況を考慮に入れて、通級指導の必要性が大きい児童生徒が入級できる状況づくりを行う。その際、再申請については、期限や回数についての条件を付記する場合がある。また、新年度の小学校通級指導教室のスタートにあたっては、可能な限り新1年生の入級枠を確保するように努める。
- ⑤ 市教委は、判定結果を在籍学校長・保護者に通知する。…3月中旬頃

通級指導の1年間の流れについて

※ 通級指導は、原則1年間単位であり、自動的に継続されるものではありません。
継続する場合も、通級指導教室入級申請が毎年必要です。



※補足説明

- ① 学習ファイルを使って、通級指導教室での毎時間の活動や学級・家庭での様子を記入し、情報交換します。
- ② 通級指導教室での学習や活動の様子を学級担任の先生はいつでも参観してください。
- ③ 通級児童生徒の特性を周囲の方々に正しく理解してもらうため、通信の配布、研修会の開催、資料提供等を行います。学級児童生徒に対しての理解啓発学習に関する資料提供、協力も行います。(本人・保護者の同意のもと)
- ④ 学校の時間割、担当者の通級巡回日を考慮して、通級の時間割を決定します。
- ⑤ 在籍学校での生活及び学習の様子を詳しく知るために、通級担当者が在籍学校・学級を訪問します。また、授業参観や情報交換をし、在籍学級や通級指導教室での指導目標について共通理解します。
- ⑥ 1学期に、通級目標の確認や指導内容等について保護者懇談を行います。
- ⑦ 通級指導校は、前後期の指導について、在籍校に指導経過報告をします。
- ⑧ 今年度の通級目標に向けての振り返りと、次年度の通級希望(再申請)の有無について、保護者に意思確認をします。
- ⑨ 在籍校は、児童生徒の一年間の学校生活の様子及び校内委員会の協議の結果等を、通級指導校に報告します。
- ⑩ 通級指導校は、再申請・退級について、在籍校や保護者と相談します。
(次年度継続の場合は、再申請となります。児童生徒の実態によっては、年度途中で退級の場合もあります。)

(別紙) ※市教委から送付したデータで各校 Only フォルダに提出 (R7年度より)

令和 年 月 日

発達障がい通級指導教室 (まなびの教室) 入級審査会該当者報告書

学校名 ()

校長名 ()

児童生徒氏名	学年	(新規・再申請)

- ※ 「該当者なし」の場合は斜線を引いて提出してください。
- ※ 「学年」は今年度の学年を記入してください。

米子市教育委員会教育長 様

米子市立〇〇小学校 校長〇〇 〇〇
(公 印 省 略)

校内教育支援委員会記録（発達障がい）

ふりがな 児童氏名	学 年 (生年月日)	第 学年 (平成・令和 年 月 日)
保護者氏名	現 住 所	
1 入級の主訴（校内支援委員会で検討した結果、本人が困っていることのうち主要なもの1つ）		
2 保護者との話し合い経過・校内支援委員会の記録等 ・これまで学校と保護者が協議した内容、校内教育支援委員会で協議した内容と決まった方向性を記入する。 ・学年・時期が分かるように時系列で記入する。		
〇年生 令和〇年〇月〇日 令和〇年〇月〇日	校内支援委員会 (内容) 保護者懇談 (内容)	
3 LD等専門員巡回相談・依頼相談について		
LD等専門員	巡回日 (相談日)	年 月 日、年 月 日 年 月 日
相談・助言内容・助言を受けて実践したこと・現在の状況等（簡潔に記入） (相談) (助言) (実践) (状況)		

4 医学的アセスメント等 <u>※最新のことを記入し、最新の資料を添付すること</u>			
受診した医療機関		医師名	
医療以外の関係機関		担当者 (職・名前)	
聞き取った者		聞き取り日時	年 月 日
(アセスメント内容)			
服薬	有 ()		
	無		
備考 (今後の医療受診等の予定があれば記入する。)			

注意事項

令和 年 月 日

米子市教育委員会教育長 様

記入漏れがないように

○児童生徒氏名、住所、生年月日等の間
違がないようにする。
○この様式は令和8年度の様式です。

米子市立〇〇小学校 校長〇〇 〇〇
(公 印 省 略)

校内教育支援委員会記録（発達障がい）

ふりがな 児童生徒氏名	学 年 (生年月日)	第 学年 (平成・令和 年 月 日)
保護者氏名	現 住 所	
1 入級の主訴（校内支援委員会で検討した結果、本人が困っていることのうち主要なもの1つ） 例)		
・主訴は1つに絞る。 →1年度の退級イメージをもって設定する。		
2 保護者との話し合い経過・校内支援委員会の記録等 ・これまで学校と保護者が協議した内容、校内教育支援委員会で協議した内容と決まった方向性を記入する。 ・学年・時期が分かるように時系列で記入する。		
【5年生】 令和6年 7月	校内支援委員会 ・1学期後半になり、授業中に落ち着きがなく・・・	・困り感に気付いた時期も記入 ・時系列(学年も)で記入 ・(再申請の場合)通級入級年度を記入(待機等も)
令和6年 7月	1学期保護者懇談 ・1学期の様子と、校内支援委員会で・・・を伝えた。保護者は、・・・	
【6年生】 令和7年 4月	校内支援委員会 ・1学期スタート時から、本人と保護者の希望のもと、1週間の見通しが持てるように、前週の金曜の放課後に確認をすることになった。	
令和7年 7月	保護者懇談 ・保護者から、来年度まなびの教室へ入級希望があることについて話があった。	
令和7年 10月	校内支援委員会 ・(理由)・・・から、まなびの教室で学習することが適切であると判断した。	
令和7年 11月	まなびの教室体験 ・体験後、・・・保護者、本人も通級指導教室への入級を希望した。	・校内支援委員会で話し合った内容を記入する。 ・通級指導教室が適と判断した理由がわかるように記入する。

3 LD等専門員巡回相談・依頼相談について			
LD等専門員		巡回日 (相談日)	年 月 日、年 月 日 年 月 日
相談・助言内容・助言を受けて実践したこと・現在の状況等 (簡潔に記入) <ul style="list-style-type: none"> ・(相談内容を記載) ・(助言内容を記載) ・(実践を記載) ・(現在の状況等を記載) <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> ・この4点を必ず記載する。 </div>			
4 医学的アセスメント等 ※最新のものを記入し、最新の資料を添付すること			
受診した医療機関	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ・受診、関係機関とつながっていない場合は、「なし」と記入する。 </div>	医師名	
医療以外の関係機関		担当者 (職・名前)	
聞き取った者	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 例)母、担任(同行受診) </div>	聞き取り日時	年 月 日
(アセスメント内容)			
<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 20px;"> ・どちらかに○ </div>			
服薬	有 ()		
	無		
備考 (今後の医療受診等の予定があれば記入する。)			

様式2

個人カード (発達障がい通級指導教室用)

記載者 _____
(令和 年 月 日)

1	児童氏名	(男・女)		
2	生年月日	平成・令和 年 月 日 (才月)		
3	在籍学校名等	米子市立 小学校 第 学年		
4	診断名	有・無		(診断日) (医療機関)
5	諸検査診断	教研式知能検査 (2年: SS IQ) (4年: SS IQ) (中1年: SS IQ) WISC-IV FSIQ () (言語理解 知覚推理 ワーキングメモリー 処理速度) (実施日) 令和 年 月 日 (実施機関) ()		
		WISC-V FSIQ (全検査IQ) () (言語理解 視空間 流動性 ワーキングメモリ 処理速度) (実施日) 令和 年 月 日 (実施機関) ()		
	T式検査	1回目 直音連続 () 文字	2回目 直音連続 () 文字 単音未修得 () 個 単音時間 () 秒	3回目 単音未修得 () 個 単音時間 () 秒 単文音読 () 秒
※その他の検査 (読み書き検査等)	(検査名、検査結果、実施日、実施機関 [D等専門員、通級担当者、リハビリも含む] 等) ※結果添付			
<p>※6～8 該当するものにチェック☑を入れ、児童生徒の様子と、それに対する<u>一次支援や個別支援</u>を箇条書きで記入する。</p> <p>6 行動のようす (☐注意集中 ☐多動性・衝動性 ☐こだわり ☐集団への参加 ☐基本的な生活習慣 ☐その他 ())</p> <p>7 コミュニケーションのようす (☐聞くこと・話すこと ☐友だちや先生との関わり ☐語彙 ☐その他 ())</p> <p>8 学習のようす (☐読むこと・書くこと ☐計算すること ☐内容の理解度 ☐運動の器用さ ☐その他 ())</p> <p>9 生活や学習についての周囲 (家族や学級の児童) の受容・理解の状況</p> <p>10 健康面・医療面について、通級指導教室で必要な配慮事項</p>				

様式4

発 第 号
令和 年 月 日

米子市教育委員会教育長 様

(在籍校) 米子市立〇〇小学校 校長 〇〇 〇〇
(公 印 省 略)

児童の通級について (申請)

下記の児童は、通級指導を受けさせたいので承認して下さるよう申請します。

記

児童氏名 (生年月日)	学 年	保護者 氏 名	保護者 住 所	指導を受ける理由及び 通級指導の週あたり時間	備 考
(年 月 日)					令和 年 月 日～ 令和 年 月 日

- (注) 1 指導を受ける理由については「発達障がい」に起因する課題の改善を図る」という記載にすること
2 備考欄には、診断名及び通級期間を記入すること
3 該当児童が2名以上の場合は行数を増やして記入すること

通級許可申請書

児童氏名		平成・令和 年 月 日生
在籍学校名	米子市立 学校 (第 学年)	
通級指導校名	米子市立 学校 通級指導教室	
通級期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
通級指導を受ける時間数	週あたり 時間	
通級指導を受ける理由 通級方法等		
備考 (医療機関からの助言内容等)		
<p>上記のとおり通級を許可して下さるよう申請します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">保護者 住所</p> <p style="text-align: center;">氏名 印</p> <p style="text-align: center;"><u>※氏名が自署であれば押印の必要はありません</u></p> <p>米子市教育委員会 様</p>		

※ 3月に来年度の通級許可申請書を提出する場合は、在籍学校名欄の学校名・学年は、来年度の学校名・学年を記入すること

通級指導に伴う教育課程

学校教育法施行規則第140条及び141条により、下記児童の通級指導に伴う教育課程を届けます

(在籍校) 米子市立〇〇小学校 校長 〇〇 〇〇
(公 印 省 略)

1 通級指導を受ける児童

児童氏名 _____ (第 学年)

通級指導校名 米子市立 _____ 小学校

2 授業時数等

(1) 在籍校における教育課程

教科領域	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	特別活動			学校行事	総合的な学習	外国語活動
											学級活動	児童会	クラブ			
年間時数 (週あたり時数)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

(2) 通級指導校における教育課程

	自 立 活 動	教科名 ()
指導目標		
曜日 (時間)	曜日 (: ~ :)	曜日 校時 (: ~ :)
年間時数 (週あたり時数)	(時間)	(時間)
主な指導内容		

米子市立 学校長 様

(在籍校) 米子市立〇〇小学校 校長 〇〇 〇〇
(公 印 省 略)

学校生活の現況について (報告)

通級指導を受けている下記の児童の学校における現況を報告します。

記

児童氏名	学年	記載者名
<p>○主訴に対する児童の学校生活 (行動の様子、コミュニケーションの様子、学習の様子、生活の様子、周囲の受容状態等) 及び在籍学校における支援、改善点や課題等を記入願います。</p>		
主訴 入級時の		
指導目標		
児童の様子 学校での支援及び		
課題 改善点及び		
校内教育支援委員会 の判断	次年度再申請 (有 ・ 無)	入級年度 年度～

【まなびの教室】

様式8

発 第 号
令和 年 月 日

米子市教育委員会教育長 様

米子市立〇〇小学校 校長 〇〇 〇〇
(公 印 省 略)

通級指導の終了について（報告）

下記の児童は、通級指導が終了するので報告します。

記

児 童 氏 名	在 籍 校	学 年	通級終了年月日	通級終了の事由	備 考
			令和 年 月 日		